

第16回 全国児童発達支援施設運営協議会（富山大会）

兼 北陸地区児童発達支援部会 開催要項

1. **テーマ** **多様な支援ニーズをもつ子どもの専門的支援を考える**
 ～子どもの人権を守り、健やかな育ちを支えるために～
2. **趣 旨** 平成 30 年 4 月から障害者総合支援法並びに児童福祉法の一部を改正する法律が施行され、子どもの多様な支援ニーズにきめ細かく対応するためにサービスの拡充が図られました。また、平成 28 年 6 月に改正された児童福祉法の理念としては、子どもが権利の主体として明確化されました。
 こうした状況を踏まえて、子どもの最善の利益を優先して、多様な支援ニーズに応え、子ども一人ひとりの健やかな育ちを支える各事業所、施設において専門的支援の質を高めるためにはどうあるべきかを考える運営協議会を開催いたします。
3. **主 催** 公益社団法人 日本知的障害者福祉協会 児童発達支援部会
4. **共 催** 北陸地区知的障害者福祉協会
 富山県知的障害者福祉協会
5. **主 管** 富山県知的障害者福祉協会
6. **後 援** 富山県、富山市（予定）
7. **日 時** 平成 30 年 12 月 3 日(月) 13：00 ～ 12 月 4 日(火) 12：30
 (初日受付は 12：00 ～)
8. **会 場** 富山国際会議場（全体会・分科会）
 〒930-0084 富山市大手町 1 番 2 号
 TEL (076) 424-5931
 ANA クラウンプラザホテル富山（意見交換会）
 〒930-0084 富山市大手町 2 番 2 号
 TEL (076) 495-1111
9. **参加者** ・児童発達支援（入所・通所）に携わる施設・事業所の長及び支援スタッフ
 ・障害児相談支援、相談業務に携わる事業所の長及び支援スタッフ
 ・保育、幼児教育、特別支援教育等の関係機関の方
 ・その他、発達支援及び家族支援に興味のある方
10. **参加人数** 300 名

11. 日 程

1日目 (12月3日)

12:00	13:00	13:20	13:30	14:30	14:40	16:00	16:10	17:30	18:30	20:30
受付	開会式	休憩	行政説明	休憩	講演Ⅰ	休憩	講演Ⅱ	移動	意見交換会	
於：富山国際会議場									—	於：ANAクラウンプラザホテル

2日目 (12月4日)

9:00	9:30	12:30
受付	分科会	
於：富山国際会議場		

12. 参加費

- ① 大会参加費 会員：12,000円、非会員：15,000円
- ② 意見交換会 8,000円
- ③ 宿泊費 別紙申込書 参照

13. 参加申し込み

- ① 参加希望者は、別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、名鉄観光サービス(株)富山支店宛に、10月31日(水)までにFAXでお申し込み下さい。
- ② 希望する分科会は、会場の都合で希望通りの分科会とならない場合がありますので、必ず第2希望までご記入下さい。
- ③ 参加申込者には、名鉄観光(株)より参加券を発行します。大会当日に資料と引換えますので、当日ご持参下さい。
- ④ 申込み後の参加費の返金は一切行いませんが、大会終了後に資料を送付させていただきますので、予めご了承下さい。

14. 大会に関する問い合わせ先

- ① 大会事務局
実行委員長 (児童発達支援部会 北陸地区代表)
瀬川 弥生 (富山県立砺波学園 園長)
〒939-1436 富山県砺波市福山1164
☎(0763) 37-0157 Fax (0763) 37-1522
- ② 研修会の申込みおよび宿泊に関すること
名鉄観光サービス(株) 富山支店 (担当; 橋谷田・都築・畔木)
〒930-0004 富山県富山市桜橋通り1-18
☎(076) 431-8056 Fax (076) 431-2056

協議会プログラム

【第1日目】 12月3日（月）

12:00 ～ 13:00 受付

13:00 ～ 13:20 開会式

13:30 ～ 14:30 行政説明

厚生労働省 社会・援護局障害保健福祉部
障害福祉課 障害児・発達障害者支援室（予定）

14:40 ～ 16:00 講演Ⅰ

「虐待を受けた子どもの心の回復過程とケア」

真生会富山病院 心療内科部長

明橋 大二氏

16:10 ～ 17:30 講演Ⅱ

「乳幼児期・学齢児期における家族支援、きょうだい支援
～ ライフステージの課題と将来の生活設計のイメージ～」

日本福祉大学教授・社会福祉法人睦月会 理事長

綿 祐二氏

【第2日目】 12月4日（火）

9:00 ～ 9:30 受付

9:30 ～ 12:30 分科会

第1分科会 「入所支援」

テーマ 「社会的養護が必要な子どもへの支援」

実践報告 被虐待児等の要保護児童への施設支援

社会福祉法人 足羽福祉会 足羽学園（福井県）

課長 岡崎 ゆかり氏

家族支援について（仮題）

児童発達支援施設 桐友学園（千葉県）

園長 新福 麻由美氏

地域移行支援に向けた施設の役割（仮題）

社会福祉法人 共栄福祉会 若久緑園（福岡県）

施設長 中村 隆氏

助言者 黒部学園（富山県）

園長 高倉 健二氏

コーディネーター ノビロ学園（北海道）

園長 遠藤 光博氏

平成28年6月改正の児童福祉法第3条の2及び「新しい社会的養育ビジョン」（平成29年8月）において、社会的養護が必要な子どもたちに対する代替養育としては、里親が優先され、施設には施設でないとできない高度な専門的ケアが求められています。社会的養護を必要とする子どもの割合が増えている入所施設での支援のあり方について考えます。

第2分科会 「発達支援」

テーマ 「多様なニーズに応じた専門性の高い発達支援」

実践報告 保育所等訪問支援の効果と課題
児童発達支援センター 歩路（鹿児島県）
園長 水流 かおる 氏

放課後等デイサービスでの発達支援の取り組み
ヴィストカレッジ富山駅前（富山県）
センター長 林原 洋二郎 氏

児童発達支援センターにおけるTEACCHプログラムを参考にした取り組み
児童発達支援センター ひよこ園事業（愛媛県）
園長 越智 晴彦 氏

助言者 児童発達支援センター 浜松市根洗学園（静岡県）
園長 松本 知子 氏

コーディネーター 岐阜市立恵光学園（岐阜県） 園長 可兒 則子 氏

今回の法改正では、障害児支援の多様なニーズに対するサービスが拡充されました。通所施設については、全ての障害に対応したより専門的な支援の提供が求められています。求められる専門的で質の高い支援について考えます。

第3分科会 「地域支援」

テーマ 「多様なニーズを持つ子どもとその家族の地域生活支援」

実践報告 地域自立支援協議会での取り組み
社会福祉法人 カナンの園 奥中山学園（岩手県）
園長 岡崎 俊彦 氏

相談支援における家族への支援
社会福祉法人 JOY明日への息吹（福岡県）
理事長 緒方 克也 氏

医療的ケア児の支援
NPO法人 ほっとアクト（福島県）
施設長 渡邊 仁子 氏

助言者 日本相談支援専門員協会（長野県） 顧問 福岡 寿 氏

コーディネーター 児童発達支援センター 仔鹿園（奈良県） 園長 岡本 とも子 氏

制度やサービスが変化し、障害があっても住み慣れた地域で暮らすことができるようになってきました。より暮らしやすい地域にするために、そして障害のある子どもたちとその家族が安心して地域生活を続けるためにはどのような支援が必要か考えます。